

令和4年11月4日

関係者各位

国立大学法人 三重大学
大学院生物資源学研究科
研究科長 松村 直人
「公印省略」

三重大学大学院生物資源学研究科 オープンラボ 2022
「地球温暖化と気候変動に対応する生物資源学研究と将来展望」の開催のご案内

拝啓 晩秋の候、貴社ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は本研究科の教育・研究に格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

さて、このたび本研究科では文部科学省から三重大学の特色ある取り組みとして高く評価されている「地球温暖化と気候変動に対応する生物資源学研究」をテーマに「大学院生物資源学研究科オープンラボ 2022」を別紙の要領で開催することになりました。

オープンラボは、本研究科の教員・学生が日頃の研究活動について、参加していただく農林水産・食品・バイオ・環境関連の企業・公的機関や地域の方をはじめ、学内外の方々に対して広く紹介する機会として「社会・地域貢献活動のアピール」を目的に開催しております。今回は「地球温暖化と気候変動に対応する生物資源学研究と将来展望」と題して、地域社会のニーズのみならず、経済の安全保障にまで影響を及ぼすことが予測されているサプライチェーンの見直しやDX導入によって、さまざまな業態の産業分野に変化が生じるとされる「**地球温暖化と気候変動への対応**」について、研究成果や活動を対面で報告するとともに、当研究科において次の100年に向けた新たな農林水産業の在り方や方向性などを考えるパネルディスカッションを企画いたしました。

ご参加頂いた皆様と教員との情報交換によって、様々なシーズとニーズのマッチングが加速されることにより、今後の大学と企業、さらには地域バイオコミュニティ作りに向けた新しい展開が形成できれば幸いです。

ご多忙の折、誠に恐縮ですが、本企画の趣旨をご理解頂き、是非ともご参加いただきますようお願い申し上げます。

敬具



生物資源学研究科オープンラボ 2022

地球温暖化と気候変動に対応する 生物資源学研究と将来展望



主催：三重大学大学院生物資源学研究科
（生物資源 100 周年記念事業）

協力：株式会社三重ティーエルオー

2022 年 12 月 10 日（土）13:00-16:40

大学院生物資源学研究科オープンラボ 2022

「地球温暖化と気候変動に対応する生物資源学研究と将来展望」実施要領

1. 日時 2022年12月10日(土) 13:00~16:40 (開場 12:30~)
2. 場所 生物資源学部 大講義室 (収容人数: 150名)
3. 主催 三重大学大学院生物資源学研究科 協力 株式会社三重ティーエルオー

4. プログラム

13:00 開会挨拶「生物資源学研究科の研究活動」 研究科長 松村 直人

13:20~14:20 基調講演 (座長: 研究科長補佐 (研究企画担当) 立花 義裕)

「地球気候変動における生物圏の役割」

総合地球環境学研究所 顧問・名誉教授 京都気候変動適応センター長 安成 哲三氏

(10分休憩)

14:30~15:30 教員・学生による活動紹介 (座長: 副研究科長 (研究担当) 橋本 篤)

(1) 「コメと温暖化: 標高を活用した実証的分析から将来のコメ生産を考える」

国際資源植物学研究室 教授 関谷 信人、資源循環学専攻博士前期課程1年 前 采花

(2) 「地球温暖化の土砂災害への影響 - 氷河湖決壊洪水・流木災害 -」

森林環境砂防学研究室 教授 堤 大三、資源循環学科4年 万田 純菜

(3) 「大きく変化する海洋環境と漁業生産」

附帯施設水産実験所 教授 松田 浩一、生物圏生命科学専攻博士前期課程2年 木藤 裕也

(10分休憩)

15:40~16:40 パネルディスカッション

「地球温暖化と気候変動に対応する生物資源学研究と将来展望」

モデレーター 副研究科長 (研究担当) 橋本 篤

パネラー 安成 哲三氏 (総合地球環境学研究所 顧問・名誉教授

京都気候変動適応センター長)

気象・気候ダイナミクス研究室 教授 立花 義裕

国際資源植物学研究室 教授 関谷 信人

森林環境砂防学研究室 教授 堤 大三

附帯施設水産実験所 教授 松田 浩一

16:40 閉会挨拶 評議員・副研究科長 (教育担当) 神原 淳

以上